

令和2年度 北広島町団体ヒアリングとりまとめ

【活動分野1】 農林水産業、商工業

対象団体
●広島北部農業協同組合 ●広島市農業協同組合豊平支店 ●北広島町商工会 ●北広島町商工会 豊平支部 (認定 NPO 法人西中国山地自然史研究会 NPO 法人 INE OASA 特定非営利活動法人 Landschaft)

地域やまちの状況、また町の施策・取組に関する評価	
<p>【悪いところ】</p> <p><全体></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化、人口減少 ・後継者不足 ・担い手ネットワークの実働が無い ・限界集落への対応・改善策の不足 ・ポテンシャルや可能性があるが、すべてもう一步踏み込めていない <p><農業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者の伸び悩み、研修生の確保が困難 ・産地交付金等の援助の低下 <p><林業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・広葉樹林の放置による景観悪化や獣害の増加 ・町有林があるが、作業の計画が進んでいない <p><商工業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コレというブランドが確立されていない ・打ち出し方がへた ・繋がりが無いので活かしきれていない ・消費の減少に伴う事業者の減少 ・実施している商工振興策の効果不足 ・空き家(危険家屋)の増加 ・既存の事業者への支援策などが乏しい 	<p>【良い所】</p> <p><全体></p> <ul style="list-style-type: none"> ・すごい人材、才能のあるひとはたくさんいる <p><農業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規就農や定住者、創業者への補助が充実 <p><林業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・薪に関するイベントの企画や情報発信の機会の増加 ・広葉樹の森づくり事業による人材育成やフィールドの整備促進 ・千町原のススキ草原への写真家の来訪が増加 ・ダイヤモンドダストがみえたり、高原植物があったり、渡り鳥がきたり、プラスアルファの魅力がある <p><商工業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コレというものは無いが、魅力はたくさんある

今後、地域やまちの状況の改善点、取り組んでいきたいことやその取組に関する課題や問題点
<p><全体></p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民への周知により、「人口減少の現状と推移」について共通認識を持つ必要がある ・北広島町ブランドの構築 ・「現状」を知らせることはとても重要だが、それと同時に「対策」を打ち出す必要がある ・例えば「e-スポーツ」や「本格的な職業体験」、「経営体験」など他ではまだ取り組まれていないような先進的なメニューを考える必要がある ・世界展開しているコワーキング・シェアオフィスの誘致 <p><農業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者の研修施設(チャレンジファーム)の稼働→研修生の確保が不安

- 3-Rの取組検討(資料米、養鶏、卵)→鳥インフルの不安
- 地域ブランドや産品を考えた上で産地の強化・補助拡充が必要
- 施設共有による効率化、流通面の改良等による生産者の収益向上

<林業>

- 木質バイオマスは北広島町で再生産可能な資源なので、積極的に利用すべき
- せどやま市場に持ち込まれる木を安全に計量する秤の導入
- 芸北茅プロジェクトは「教育」「経済」「野生生物」「文化」と様々な分野を横断しているものなので、役場でも商工観光、農林、まちづくりなど教育委員会以外でも推進や実施の支援を期待したい
- バードウォッチャーは多いがお金を落とす仕組みが必要

<商工業>

- 人口減少、利用率の低下に対応するための店舗統廃合
- 小規模事業者数の維持
- 移住による新規事業者と既存の地域事業者との交流を図り、新たな連携や相互の情報交換による新規事業についての検討
- 団体の技術や建設機械を持っている強みを活かした空き家や倉庫の解体(進行中)

今後、住民や町と連携して取り組みたいことや住民同士で連携してほしいこと

<全体>

- 町及び各関係機関、町民、地域が人口減少対策の役割を認識して何をすべきが考え実行する必要がある
- 住民が地域のことにもっと関心を深めてほしい
- 多少価格が高くてもあるものは地域で購入する努力をしてほしい

<農業>

- 農家集約による経営の充実
- 作り手のいない圃場を連携して作業を行い、地域ぐるみで連携した時の補助の導入
- 所有する山林についての現状把握を含め、住民が関心をもつための取組
- 持ち込む茅を増やし、現在残る茅葺き家屋の修復の推進、芸北付近で生産される「藝州茅」のブランディング、茅の建築物使用を協働で取り組みたい
- 住民の中で茅を出荷する雰囲気ができることを望んでいる

<林業>

- 山を整備しレンタルキャンプ場(行政で整備し、地域で管理)
- 公共施設の薪ボイラーの普及、地域おこし協力隊を毎年継続的に入れること、せどやま市場の安全な運用と薪の生産増加のための計量器の購入に使える資金支援を協働で取り組みたい

<商工業>

- 住民が地域の企業についてもっと深く関わる機会があると良い
- 北広島町のブランド、核となるものを連携しながらしっかり創っていききたい
- 酒を中心として、食べ物、スイーツなどつくってあげれば面白い
- いくつか連携することのなかで、命題がないので、それをつくってあげるだけでも良いと思う

めざしたい姿や将来像、北広島町が10年後、活動分野としてめざすべき姿

<全体>

- 各団体や住民が参画して世間や地域外からの注目を集める事が必要
- 伝統文化や新たな地域資源の活用、地域の食も必要
- 取りこぼされる地域にならないように、資源循環型の地域をつくる(過疎に負けない、災害にも強い、時給自足できる地域)

<農業>

- 農業振興の拡大
- 組合員(町民)・JA・行政が一体となった農業振興
- 重複した組織のスリム化
- 田舎の強みである地域資源を最大限に活用した「北広島町ブランド」の構築に取り組んでいく

- 大規模な野菜振興や地域ネットワークが整い、担い手農家が地域で活躍し、その作業を近隣住民や市内からの労働者が参加してくような盛んな産地
- 各地域の特色を強化し市内からでも農業で生活ができる環境を作ってほしい
- 標高差を利用した作柄の大ロット化・流通の効率化

<林業>

- 里山が整備され、生物多様性が維持される
- 薪の利用が増えていることで、温暖化防止にも一役を買っている
- セドやま市場で働く当会の職員が増え、給料も平均的な金額となっている
- 各地域に茅場ができている
- 秋に茅で収入を得る人が増えている
- 茅葺きの建物が増えている
- 芸北中学校の卒業生の中から、芸北茅プロジェクトをまわす人材がうまれている
- 活動を継続するために、芸北の資源(薪や茅)を販売し、運営ができるようにしているが、多くの課題があるので、町行政とも協働し、「ゆるぎない暮らしができる町」づくりをすすめていきたい

<商工業>

- 事業計画策定・実行支援をさらに強化し小規模事業者の売上・利益確保に地道に取り組んでいく
- 時代の変化は加速度的に進み、消費者ニーズが劇的に変化していく中で、地域唯一の経済団体として商工会が時代の変化に対応した支援を行う
- 働く場(雇用)の維持と働き方の多様化が求められる
- 地域通貨の利用により、地域の商店が維持されている
- 成功事例を積み重ねることで、UIJ ターンによる創業者を創出し、加えて、後継者対策として事業承継を支援する事で一定の事業者を維持し、将来にわたって住民が安心して生活ができる地域を目指す
- いろんな声をきいてもらって施策に反映してほしい。やっているとは思いますが、温度差があるように感じる。地域や地元の話のなかで、知恵を乗せていってほしい

【活動分野2】 観光・文化・スポーツ

対象団体
<p>●(一社)北広島町観光協会 ●芸北地域体育協会 ●北広島町千代田地域体育協会</p> <p>●大朝地域体育協会 総合型地域クラブ 大朝人くらぶ ●豊平地域体育協会</p> <p>●一般社団法人 芸北道場 ●千代田総合型地域スポーツクラブ(ちよスポ) ●どんぐりクラブ屋台村 (一般財団法人どんぐり財団 認定 NPO 法人西中国山地自然史研究会 NPO 法人 INE OASA)</p>

地域やまちの状況、また町の施策・取組に関する評価	
<p>【悪いところ】</p> <p><観光></p> <ul style="list-style-type: none"> 観光の PR はしているが、他と違う「〇〇をするために北広島町へ来てください」というものがほとんどなく、自然系、歴史系等の名所などに各自で行ってもらってそれぞれに楽しむといった観光の方法しか示せていない 温泉施設やスキー場や飲食店等の閉店により長時間の滞在が困難 各事業者へお金が入ってきにくい 舞ロードの駐車場が足りない 観光案内所の施設整備が不十分 一つの目的のためにみんなでこれをやろうというのでできていない <p><スポーツ(活動)></p> <ul style="list-style-type: none"> 球技大会の参加者が年々減少し、去年は女子バレーが実施できなかった 全体的にも参加者が減り、チーム数も減ってきた 競技部もメンバーが減り、休部が増加 スポ少も減少傾向、団体数、メンバーともに減少 ソフトテニスや平日の昼間ということで、人数が少なく、千代田の会員を増やしたい スポーツを核として町づくりと言われているが、環境は以前と全く変わらない様を感じる <p><スポーツ(運営)></p> <ul style="list-style-type: none"> 少子高齢化により、各地域内の体育協会各支部、各部の活動が鈍化 体育協会以外の部署から突発的にスポーツに関する知らせや会議招へいも有り、意味も分からないし、対応も取りにくい 	<p>【良いところ】</p> <p><スポーツ(活動)></p> <ul style="list-style-type: none"> きたひろスポーツフェスタ等の開催により定期的にスポーツ活動の場の提供がなされている ジュニアのスイミングは人気があり、定員がすぐにいっぱいになる 卓球は高齢の方に人気 どん北(ソフトテニス)の選手が近くにいてありがたい 中学生までを対象とした剣道教室、キッズテニス教室、ソフトボールクラブへの子どもの参加割合は高い シニア世代を対象にしたエアロビックサークルや健康サークル、40～50代が参加できる硬式テニスやソフトバレー、ビーチバレーにも安定した参加がある <p><スポーツ(運営)></p> <ul style="list-style-type: none"> 体協施策については常に協議を重ねているため、出来る限り地域全体に諮り、実施できるように心がけている

今後、地域やまちの状況の改善点、取り組んでいきたいことやその取組に関する課題や問題点
<p><観光></p> <ul style="list-style-type: none"> 観光スポットと観光スポットをつなげる要素が少ないため、その要素の開発が必要 町内の2次交通の整備が必要 観光による町内の事業者へお金が入る仕組みが整っていないため、その仕組み作りが必要 場合によっては外部からの視点も必要(外部から意見を求める) 箱(受け入れ施設)がない。冬に対応しているトイレが無くて困っている

<文化>

- 文化系の方に手がついてない、美術で集めて部活のようなことをしたい
- 文科系のサークルに取り組みたい→既存のサークルが多い

<スポーツ(活動)>

- 高齢化や少子化により競技人口は減少しているが、スポ少の存続を願うとともに生涯スポーツの観点からスポーツに親しむ人を増やしていきたい
- 出来る範囲でのコミュニケーションの場の提案を続けていきたい
- 地域に眠る特技や技術をもった人材を発見し、文化面でも教室を増やしていければと考えている(公民館と方向性が同じなため、参加者の取り合いになることがないような工夫が必要)
- ソフトテニスはいい選手がいるのに、会員数が増えない

<スポーツ(運営)>

- 行政は既存の組織との連携を大切にしてほしい
- 住民誰もが主体的にスポーツ活動へ参加できる推進体制の整備
- 組織の継続を見据えた幅広い人材の登用と若い人の参加を加速していきたい
- スポーツに関する情報発信の一本化、担当部署は町長部局でまちづくりに直結した活動につなげてほしい
- スポーツとまちづくりについて町民心ひとつで推進できるようにしてほしい
- これまで取り組んできたことを継続していきたい
- 新型コロナが落ち着いて通常の運営に戻したい
- totoの申請を諦めて町の補助金で運営しているので、大きな行事ができず、大きいイベントを開きたい
- 収益事業としてバザー出店をしたり、大会を開催したりしているが、地域住民にスタッフとして積極的に参加してもらおうような仕組みを作り、住民にクラブ経営に関して当事者意識をもってもらえるようになれば理想
- 北広島スポーツコミッション創設に向けて町との連携強化
- 町内小・中学校や保育園との連携、スポーツ団体との連携
- ボランティアのモチベーション維持が必要
- 町がどういう方向性で進んでいこうとしているのかが見えない

今後、住民や町と連携して取り組みたいことや住民同士で連携してほしいこと

<観光>

- 住民目線での北広島町の魅力を発表し合い、共有して観光に生かす
- 住民しか知らない穴場スポット等の共有
- 住民も北広島町を楽しめる企画
- コロナが終息後、未来会議を定期的開催し、より発展的な町の在り方を目指すべく、地域にさらにおろして話し合い、それを町が吸い上げて検討する
- これまで観光拠点を車やバスで繋いでいたものがあるいや自転車など移動の時間も楽しんでいただきながら、途中の過程で農業体験や施設間のお店などに立ち寄ってもらえる点と点を繋ぐ動きをしていきたい。

<文化>

- 大人の部、子どもの部に分けて、スポーツに関する絵を集める絵画コンクールをやりたい。絵を描くためにスポーツを見に行くという過程が生まれる。スポーツをしない子が関わる(見に行く)きっかけにもできると思う

<スポーツ(活動)>

- スポーツを通じたコミュニケーションの場の醸成
- チャレンジデーの取組を地域に広げていきたい
- スポーツを通じて運動不足の解消、ストレス解消、健康寿命の延伸
- 部活動への指導者派遣や児童生徒のボランティア参加など
- 地域出身アスリートへの激励、将来この地域に戻りたい、この地域にいつまでも住みたいと思えるようなサポート
- 北広島町元気づくり推進事業
- 夏冬のスポーツ、秋の駅伝、地域全体で参加できる親しめる種目、アスリートの育成
- e-スポーツ(トレーニングルームの自転車で競うなど)の導入をぜひ実施してほしい

<スポーツ(運営)>

- 千代田の総合型の認知度が低いいため、まだまだ情報発信をしていく
- 町のスポーツフェスタ等に参加して会員を増やす
- 住民からのアイデアやリクエストをしてもらえれば、もっと面白いことができるのではないかと思う
- 体協や総合型地域 SC との連携
- どんぐり北広島ソフトテニスクラブやアフィーレ広島との連携
- 参加することが楽しい人も、お世話したい人も。人集めなどが苦勞する。ほかのイベントをくっつけた方が来やすい
- 周知をきたひろネットなどを使って、地域を超えて、人のとり合いにならないように、情報発信をしていきたい

めざしたい姿や将来像、北広島町が 10 年後、活動分野としてめざすべき姿

<観光>

- 北広島町の自然、歴史、文化、芸能等の資源を生かし、発信し、観光客に訪れて良かったと思っただけの町を目指す
- 観光客によってお金が各事業者に入り、観光協会も事業収入を得られる
- 観光が地域経済を活性化する重要な要素になる町

<スポーツ(活動)>

- スポーツに親しめる環境づくりの提供、地域住民の交流の活性化
- スポーツを通して集まることが楽しくワクワクするようなイベント開催ができ、参加者のコミュニケーションで暮らしも安心安全で助け合いができる環境にしていきたい
- 子どもからお年寄りまで、ライフスタイルに応じたスポーツ活動を通じ、健康づくりを目指す
- 手軽にみんなと楽しく賑やかなムードのビーチボールバレー、ソフトバレーなどは大いに推奨していきたい
- 各種スポーツの普及、振興、スポーツ指導者の育成、スポーツ少年団育成に取り組みたい
- 千代田運動公園をもっと使っていきたい
- もっと地域住民とのつながりの密度を濃くしていきたい
- 誰もが参加したいクラブを目指す、スポ少に入っていない子どもたちを取り込む
- 中学生と保護者のボランティアで運営しているウエスタン・リーグのようなイベントの開催回数を増やしたい
- これまで地域内で開催されてきたスポーツ活動を継続していく

<スポーツ(運営)>

- チャレンジデーに取り組む指導者の育成と、地域で運動に親しむ気運の情勢に努めていきたい
- 基盤はスポーツだが、スポーツのみに捉われず、地域住民同士が関わる機会を作ることで、地域ぐるみの子育てや自立したシニア世代の生きがいづくり等に貢献できる団体になっていきたい
- 町内外の住民が交流しあえる、スポーツを核とした地域づくり・元気づくりを目指す
- 豊平地域体育協会での活動を中心としながら町内4地域合同での大会や交流を通じてスポーツに親しめる環境づくりを目指す
- スポーツのある北広島として、どんぐり財団や他のスポーツクラブ、どんぐり北広島ソフトテニスクラブと協力し合って、スポーツ人口を増やせたらと思う
- 総合型は知名度が低いので、もっと知ってほしい。活動がまだあまりできていない
- スペシャルオリンピック来年 11 月に知的障害の方に乗馬スポーツに親しんでいただきたい
- シンプルなことをしていきたい。まき割りなど違った視点を取り入れていきたい。ちょっとした運動にもなる

【活動分野3】 子育て、教育

対象団体	
●大朝地域体育協会 総合型地域クラブ 大朝人くらぶ	●一般社団法人 芸北道場
●北広島町社会福祉協議会	●一般財団法人どんぐり財団 ●100 プロ
●認定 NPO 法人西中国山地自然史研究会	●NPO 法人 INE OASA

地域やまちの状況、また町の施策・取組に関する評価	
<p>【悪いところ】</p> <p><子育て></p> <ul style="list-style-type: none"> 子育てに関して、保育園問題はその後どの様になっているのか、見えない 普段の生活の中だけでは、子どもたちは限られた職種にしか触れることができない <p><教育></p> <ul style="list-style-type: none"> 小・中学校ともに生徒数は減少しており、大朝小学校・新庄小学校の両方で、複式学級が目立つようになった 大朝地域は私学新庄学園があり、これまで独自の教育環境を築いてきたが、地域づくりに活かされていない 芸北の中学生・高校生が土日や放課後に学習する場所がない インターネット環境は高校にあるものの、進路関係や調べ物が授業以外では使えない 公営・私営ともに塾がない 「教育の集い」の開催(芸北支所)を通じて、現状や課題を確認する場があるが、そこで出てきた課題に対し、実行に結びついていない 	<p>【良いところ】</p> <p><子育て></p> <ul style="list-style-type: none"> 町内の保育園・小学校にスポーツ指導者を派遣した 町福祉課と連携しながら保育園への指導を行った <p><教育></p> <ul style="list-style-type: none"> 芸北小学校ではキャリア朝会が実施され、地域住民や保護者が話題提供をしている 芸北分校ではサマーセミナーなどで講師を設定し、キャリア教育を行なっている 北広島町は4つの地域に分かれていて、教育環境も地域ごとの特徴が濃いと感じている

今後、地域やまちの状況の改善点、取り組んでいきたいことやその取組に関する課題や問題点
<p><子育て></p> <ul style="list-style-type: none"> 人口をこれ以上減らさないためにも、保育や教育に力をいれる必要があり、それがなにより優先されるべき 子育てのしやすい町にならないと子育て世代が減少し、子供の数も減り益々先が見えない 将来を担う子どもたちへの、地域づくりの醸成はとても重要であり、ふるさと教育にとどまらず、SDGs など社会的課題を積極的に取り込んでいくべき <p><教育></p> <ul style="list-style-type: none"> 児童・生徒が施設を利用するにあたり、公共交通機関としてバスでの利用があるが、バス停が近づくなく、歩道はあるが、冬場、歩道は使用できない為車道を歩いている。バス停の変更が出来れば、子供達が利用するのに危なくないと思う 町内小・中学校や保育園との連携、スポーツ団体との連携 子ども達が多様な職種の人と直接触れ合う機会をつくる必要がある

今後、住民や町と連携して取り組みたいことや住民同士で連携してほしいこと
<p><子育て></p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の住んでいる地域の課題を我がごととして意識して考え、解決に取り組むことにより、地域力の向上に

繋がる

<教育>

- 様々な業種の人を高校生に紹介するキャリア朝会は継続し、「しごと図鑑」の作成も目指したい
- 芸北だけでなく、町内の小中高の学校でキャリア教育のしくみが構築できればと考えている
(特に高校生と様々な業種の人が結びつき、関わりを持って欲しい)
- 支所の空きスペースを居場所(自主学習や塾)として使用できるようにする
(住民が講師となり、中高生の勉強や進路について、中高と連携して指導する)

めざしたい姿や将来像、北広島町が 10 年後、活動分野としてめざすべき姿

<教育>

- キャリア教育のしくみづくりを通じて、子供たちが課題意識をもつことで、職業や進路選択の幅がひろがる
- 地域づくりを担う人材が育成でき、より広い社会を視野にして活躍できる人材が育成できる
- 中高生の放課後や休日の居場所ができ、住民との交流もできている
- 芸北分校の学校としての魅力が増し、進学を希望する生徒が増加している
- 今住んでいる大人たちが、この地域での暮らしを楽しんでいる姿。その姿を子どもたちに見せていきたい

【活動分野4】 健康、医療、福祉

対象団体
<ul style="list-style-type: none"> ●大朝地域体育協会 総合型地域クラブ 大朝人くらぶ ●一般社団法人 芸北道場 ●北広島町社会福祉協議会 ●一般財団法人どんぐり財団

地域やまちの状況、また町の施策・取組に関する評価	
<p>【悪いところ】</p> <p><全体></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少の加速等により、地域から公共施設や病院、集落センター等もいづれなくなったりしないかと危惧する <p><福祉></p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度などの公的制度の導入により、家族の断裂や地域力が低下している (地域力を損なわない配慮が必要) 	<p>【良いところ】</p> <p><健康></p> <ul style="list-style-type: none"> ・町保健課と協働で町内 61 カ所の集会所で元気づくり体操を実施している ・スポーツは敷居が高いため、スポーツ施設に来ない方が、元気づくり事業には来られる

今後、地域やまちの状況の改善点、取り組んでいきたいことやその取組に関する課題や問題点	
<p><健康・福祉></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の方々に健康づくりやつながりの場として、ゲートボールやグラウンドゴルフサークル活動を継続していきたい ・北広島町元気づくり推進事業への取組 <p><福祉></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉の推進、お互い様の地域づくり→労働力不足により十分に実施できていない。また、成果を得られにくい事や数値化できないことで、理解が得られていない ・「地域住民を大切にする」ことを第一に考え、今まで通り地域住民と共に地域振興を図っていく ・役をしたくないというのが多く聞かれる原因。おもしろみがないと思われる ・なにかしてあげたいという気持ちはあるが、自分がしてもらいたいわけではない。受援力が必要 ・地域福祉は効果がとても見えにくい ・地域によって、特性があるのでそれに合わせた参加促進策や企画を考える必要がある 	

今後、住民や町と連携して取り組みたいことや住民同士で連携してほしいこと	
<p><全体></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の住んでいる地域の課題を我がごととして意識して考え、解決に取り組む。これにより地域力の向上に繋がる <p><健康></p> <ul style="list-style-type: none"> ・体を動かす事、スポーツする事で健康維持、体力づくりにつながっていく事になるので、住民に広げたい ・福祉教育なども細く長くしていかなければいけない 	

めざしたい姿や将来像、北広島町が 10 年後、活動分野としてめざすべき姿	
<p><全体></p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民自らが利他的な発想により、お互い様の繋がりができている ・地域課題について、地域全体の課題として取り扱えるようにしたい。自分たちで解決するものにしていき、社協が伴走する形が理想 	

- 国際的な子ども達に育ててほしい。特性を出して、子ども達が住みたいと思う町にして高齢者もいきいきするような町になってほしい
- 町域が広いので、行政が政策していく公助に限界がきていると思う。住民が自分たちでなんとかするための主体性の部分を大きな柱として考えていかないといけない

【活動分野5】 人権、男女共同参画

対象団体

- 北広島町社会福祉協議会

地域やまちの状況、また町の施策・取組に関する評価

【悪いところ】

・

【良いところ】

・

今後、地域やまちの状況の改善点、取り組んでいきたいことやその取組に関する課題や問題点

- ・ 地域福祉の推進、お互い様の地域づくり

今後、住民や町と連携して取り組みたいことや住民同士で連携してほしいこと

- ・ 自分の住んでいる地域の課題を我がごととして意識して考え、解決に取り組む。これにより地域力の向上に繋がる

めざしたい姿や将来像、北広島町が10年後、活動分野としてめざすべき姿

- ・ 住民自らが利他的な発想により、お互い様の繋がりができている

【活動分野6】 住環境、交通、情報

対象団体
●北広島町社会福祉協議会 ●NPO 法人 INE OASA (北広島町商工会 認定 NPO 法人西中国山地自然史研究会 特定非営利活動法人 Landschaft)

地域やまちの状況、また町の施策・取組に関する評価	
【悪いところ】 <住環境> <ul style="list-style-type: none"> • 空き家バンク・危険家屋対策など、長年培ってきた割にブラッシュアップはされていない • 地域協議会やNPOとも連携して移住者を増やす施策が欲しい <交通> <ul style="list-style-type: none"> • 芸北ではバスの便が少なく、デマンドタクシーは高額で、結局保護者の送迎が必要とされ、放課後や土日に中高生が自由に動くには制限がある 	【良いところ】 <住環境> <ul style="list-style-type: none"> • 空き家バンク・危険家屋対策など、行政の取り組みは評価する

今後、地域やまちの状況の改善点、取り組んでいきたいことやその取組に関する課題や問題点
<住環境> <ul style="list-style-type: none"> • 過疎化問題は、「人口減少」「高齢化」「空洞化」が 3 大課題 • 人口減少・高齢化は、「限界集落」「担い手不足」「空き家」「学校統廃合」など多岐にわたる • 空洞化では、「事業承継」「商店・飲食店の廃業」など地場産業の衰退が止められない • もっと UIJ ターンや今住んでいる子供たちへの施策を集中的に取り組む必要があると思う (他の施策を極端に少なくしてでも、人口減少対策に集中すべき) <情報> <ul style="list-style-type: none"> • 高速ネット通信と田と畑、家があれば移住への需要は高まるはずなので、魅力を磨き情報発信を強化する必要がある

今後、住民や町と連携して取り組みたいことや住民同士で連携してほしいこと
<住環境> <ul style="list-style-type: none"> • 空き家を使ったイベントやシェアオフィスの推進、リノベーションスクールの設置(地域おこし協力隊制度)、空き家と移住者のマッチングを協働で取り組みたい • 地域の中で空き家の状態(家・人)を把握し、データベース化することも必要 <交通> <ul style="list-style-type: none"> • 自動運転を積極的に誘致したいので町と一緒に誘致活動等を行いたい • ドローンを活用した宅配事業等のモデル地域を目指し町と一緒に取り組みたい

めざしたい姿や将来像、北広島町が 10 年後、活動分野としてめざすべき姿
<住環境> <ul style="list-style-type: none"> • 危険な空き家や景観を壊す空き家がなくなり、使える空き家はリノベーションされ、交流や移住の場になっている <情報> <ul style="list-style-type: none"> • 高速インターネットの普及による新たな事業として「テレワーク×自家農業」や「地域創業×ネット媒介で全国へ」のような生活を提供できるようになれば、市街地や都市部からの移住者の呼び込みにもつながると思う

【活動分野7】 自然環境、景観維持

対象団体
●認定 NPO 法人西中国山地自然史研究会 ●NPO 法人 INE OASA ●八幡青年団

地域やまちの状況、また町の施策・取組に関する評価	
【悪いところ】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 広葉樹林の放置による景観悪化や獣害の増加 	【良いところ】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 薪に関するイベントの企画や情報発信の機会の増加 ・ 広葉樹の森づくり事業による人材育成やフィールドの整備促進

今後、地域やまちの状況の改善点、取り組んでいきたいことやその取組に関する課題や問題点	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 木質バイオマスは北広島町で再生産可能な資源なので、積極的に利用する方策を実行することが望まれる ・ 芸北茅プロジェクトは「教育」「経済」「野生生物」「文化」と様々な分野を横断しているものなので、役場でも商工観光、農林、まちづくりなど教育委員会以外でも推進や実施の支援を期待したい 	

今後、住民や町と連携して取り組みたいことや住民同士で連携してほしいこと	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 所有する山林についての現状把握を含め、住民が関心をもつための取組 ・ 持ち込む茅を増やし、現在残る茅葺き家屋の修復の推進、芸北付近で生産される「藝州茅」のブランディング、茅の建築物使用を協働で取り組みたい ・ 住民の中で茅を出荷する雰囲気ができることを望んでいる 	

めざしたい姿や将来像、北広島町が 10 年後、活動分野としてめざすべき姿	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 里山が整備され、生物多様性が維持される ・ 薪の利用が増えていることで、温暖化防止にも一役を買っている ・ 危険な空き家や景観を壊す空き家がなくなり、使える空き家はリノベーションされ、交流や移住の場になっている ・ 取りこぼされる地域にならないように、資源循環型の地域をつくる(過疎に負けない、災害にも強い、時給自足できる地域) 	

【活動分野8】 防犯・防災

対象団体
●北広島町社会福祉協議会 ●一般財団法人どんぐり財団 ●北広島町消防団

地域やまちの状況、また町の施策・取組に関する評価	
<p><悪いところ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防団員の減少、高齢化 ・装備の不足(ハッピー合併当時の約束が未だできていない) ・消防団の再編、残り(千代田エリア) 	<p><良い所></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会・豊平支所と連携を取りながら安心安全な施設運営を行った

今後、地域やまちの状況の改善点、取り組んでいきたいことやその取組に関する課題や問題点
<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理施設の設備において築 30 年近く経過するものが数多く、改修が必要となっているものが多数あり、教育委員会・豊平支所と連携を取りながら安全第一に運営管理を行っていきたい ・千代田エリアの再編(7分団→2屯所、8分団→2屯所、9分団→1屯所、10分団→2屯所、11分団→1屯所) ・何年までにやるかではなくいつからやるかが大事

今後、住民や町と連携して取り組みたいことや住民同士で連携してほしいこと
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の住んでいる地域の課題を我がごととして意識して考え、解決に取り組むことにより、地域力の向上に繋がる ・防災訓練の充実、高齢者の避難など ・避難場所の見直しなど ・連携した防災キャンプなど(香川県で実施している)も実施していただきたい

めざしたい姿や将来像、北広島町が 10 年後、活動分野としてめざすべき姿
<ul style="list-style-type: none"> ・住民自らが利他的な発想により、お互い様の繋がりができている ・団員が安心・安全に活動できる環境を作ること。訓練の充実 ・団員数の見直し、消防車、機械・器具の更新

【活動分野9】 まちづくり、住民協働

対象団体
●特定非営利活動法人 Landschaft ●NPO 法人 INE OASA ●八幡青年団 ●100 プロ ●南風会 ●赤鬼会 ●北広島町商工会 豊平支部 (北広島町社会福祉協議会 一般財団法人どんぐり財団 認定 NPO 法人西中国山地自然史研究会)

地域やまちの状況、また町の施策・取組に関する評価	
<p>【悪いところ】</p> <p><まちづくり></p> <ul style="list-style-type: none"> 地域協議会やNPOとも連携して移住者を増やす施策が欲しい 過疎化が進み、限界集落になりつつある地域もある中で、この先の地域に対する危機感を持つ人が、少ないように感じる。また、あきらめ感を持っている人もかなりいると思う 20～30 年先(今の子どもたちやこれから生まれてくる子どもたちが大人になったとき)に、今と同程度、あるいは、今以上に賑わいのある地域にするために、すべきことがたくさんあるはずなのに、町全体のこの部分に対するウエイトが少ないように感じる 介護保険制度などの公的制度の導入により、家族の断裂や地域力が低下している ワンストップがない。商工会もたくさんあるが、枠の中だけで情報が完結してしまう ポテンシャルは高いけど活かされていない <p><住民協働></p> <ul style="list-style-type: none"> 北広島町は「協働のまちづくり」を念頭に挙げているが、NPO 活動としても、地域での活動としても、実感できない事が多い これまで、行政への協働を提案しても、聞いてはくれるが、実行には移らない <p><祭・行事></p> <ul style="list-style-type: none"> イベント行事を行うスタッフの高齢化が進み、若い世代も人数が少なくなっているため、徐々に活気がなくなっている 	<p>【良いところ】</p> <p><まちづくり></p> <ul style="list-style-type: none"> キャンプ系のイベント申込はかなり反響がある <p><祭・行事></p> <ul style="list-style-type: none"> 南方夏祭りは、今年は新型コロナのこともあり中止となったが、9会実施しており、北広島町外の方々からも多くの高評価をいただいている 旧南方小学校のイルミネーションに関して、保育所の先生や園児たちから気分が晴れ晴れするという声をいただいている 本地地区のとんど祭りではバザー出店で赤鬼汁、焼き鳥など販売し、肌寒い中、地域の方々から大変好評をいただいている 本地小学校運動会、地区体育祭においても同様にバザー出店し、好評をいただいている 平成 29 年より本地地区で本地夏祭り大会を主催し、各方面の方々よりご支援いただき、大盛況で開催ができています

今後、地域やまちの状況の改善点、取り組んでいきたいことやその取組に関する課題や問題点
<p><まちづくり></p> <ul style="list-style-type: none"> まずは、情報発信の強化が肝要 「e-スポーツ」や「本格的な職業体験」、「経営体験」など他ではまだ取り組まれていないような先進的なメニューを考える必要がある 転入者の増加・転出者の減少のためには婚活への取組も大切。「やり方」や「かわり方」を考えて注力すべき 北広島町元気づくり推進事業への取組 「住みたい、住んでみたい、住み続けたい」と満足感と幸福感を感じられるまちづくりを目指すのであれば、このことにつながる施策・取組に重点を置いたような町の姿勢が必要 バイオマスとか環境活動は負担になるとやりづらい。ストレスになるようなことは参加率が悪い

- 魅力ある地域であるためには魅力ある教育や住むところが必要でそれを情報発信していく必要がある
- 中高生などを対象に自分で起業することができる人材を作っていけるようにすることが必要
- 若者が集まる機会が増えると新たな交流がうまれると思うので、そのような機会を定期的に開催し、時間と場所が提供できると良い

<住民協働>

- 公の団体ではないので、公の場での活動に対する協力や後援がなかなか得られない
- 地域福祉の推進、お互い様の地域づくり
- 北広島スポーツコミッション創設に向けて町との連携強化

<祭・行事>

- 子育てに一区切りついた人たちのイベント離れを感じるので、連携して活気を取り戻していきたい
- 夏祭り等続けて実施することが大事だと思っているが、現在 40 代が中心となって進行しており、20～30 代の人材が不足しているというのが問題点

今後、住民や町と連携して取り組みたいことや住民同士で連携してほしいこと

<まちづくり>

- 環境保全についてはまだまだ町としては遅れている。木質、バイオマスなどまだまだ。脱炭素の中でどうしていくのか。5年後には一つでも進めていくようにしてほしい
- 環境系の話をする場がまずなかったが、ごみはみんなが関係することなので、最近ごみを減らそうといったテーマからはじめており、ぜひ町にも参加してほしい
- 衣服などはみんなの関心が高いので、エシカルなどカッコいいよねと思える小さな動きを少しずつ広げていくことから始めたい
- 知らないコトを知っていく、人づてや情報発信ができるツールを使うような、自動的に配信できる仕組みがほしい
- 地域おこし協力隊を活用できるように町としても前向きに取り組んでほしい。募集後の受け入れる体制は用意できている
- 町内の情報を知れる場所が必要
- 役場職員さんともっと連携をとってやっていきたい

<住民協働>

- 町と住民がリアルタイムで情報共有できるツール
- 町内のNPOとの連携や、町内外の企業・個人との連携事業
- 町政と一緒に取り組まなければ成功しないので、専任担当者を配置していただき、スピード感を持って、一丸となって取り組めれば良いと思う
- 行政と地域の関係は、町村合併後複雑化・多様化している。NPOの役割は、その複雑化・多様化する仕組みの中で、その問題を紐解き、スムーズに進めていくことと考えている。「協働のまちづくり」には大きな役割があり、機動力として存在していきたい
- 一緒にまちづくりを考えるサークルづくり
- 「行政の役割」「地域の役割」「住民の役割」の関係づくり、「点」を「線」にする場づくり
- 住民が地域のことにもっと関心を深めてほしい(自分事化して考えてほしい)
- 地域の活性化のためには多少価格が高くて必要なのは地域で購入する努力をしてほしい
- 住民が地域の企業についてもっと深く関わる機会があると良い
- 若者が集まる機会が増えると新たな交流がうまれると思う。そのような機会を定期的に開催し、時間と場所が提供できると良いと思う
- 子どもたちが将来も住み続けたいと感じられる町づくりを町行政と協力し活動できるようでありたい
- 小学生・保育園児が安心・安全に生活できる地域であるために活動を行い、将来その子どもたちが我々の活動に賛同し、さらに次世代の子どもたちに思いを届けていけるような取組が町行政と協働していければと考えている

<祭・行事>

- E スポーツの開催。各種セミナーの実施。人が集うイベント等の開催
- 若年層と中年層に区切りをつけず連携して、人数の少なさをカバーしていければと感じる
- 子どもたちの笑顔は住民の元気の源だと思うので、子どもたちが楽しく笑える場所、イベントを作ってあげていかなければならないと思う

めざしたい姿や将来像、北広島町が 10 年後、活動分野としてめざすべき姿

<まちづくり>

- まちづくりセンターをハブとして、芸北・豊平・大朝にも波及する事を目指す
- 我々の地域が取りこぼされる地域にならないように、資源循環型の地域を作りたい
- 将来子どもたちが我々の活動に賛同し、さらに次世代の子どもたちに思いを届けていけるような会でありたいと考えており、伝統や行事を未来永劫に伝えて、より住みよい地域を目指し、伝統を継承していければと思っている
- まちづくり全般を考えて若い人の意見を実現していきたい。まちづくりセンターができているが、そこをハブとして各地域につなげていきたい

<住民協働>

- まちづくりセンターを中心として最先端の情報等が集まり発信できて人が集う場所にしたい
- ネットワークを活用して、町内外との連携を積極的に図る
- 過疎に負けない、災害にも強い、時給自足できる地域を作る
- 若い・年寄りなど言っていないので、どの年代もできることを協力して行えるようになればと考える
- 今住んでいる大人たちが、この地域での暮らしを楽しんでいる姿を子どもたちに見せていきたい
- 各団体や住民が参画して世間や地域外からの注目を集める事が必要になるので、伝統文化や新たな地域資源の活用、地域の食も必要

<祭・行事>

- 微力ながらも現イベントを続けていき、今の子どもたちが大人になって実際に携わってくれることが現運営人の希望

総合的にめざす姿

めざしたい姿や将来像、北広島町が 10 年後、総合的にめざすべき姿

<全体>

- 今以上に、子育て、教育、定住促進、商工振興施策を重点施策として特化させないと人口減少に拍車がかかり止めようがなくなる。そのためにも、町民との共通認識が必要である
- 子供たちの眼に、心に、魅力ある町として映ってほしい
- ふるさと夢プロジェクトでつなぐ地域の未来
- スポーツ・健康福祉・地域振興・産業分野を横串にさし、それぞれの分野の特徴を活かしながら地域の伝統文化や地域資源を有効活用することで北広島町の認知度を全国へ広め、国内外からの誘客やつなげ、北広島町の地域活性化を目指す
- 職・住の安定で若い世代が残ってくれることが大事であり、上の層に支えてもらっている今の逆ピラミッドを改善していく
- 残すべきものは、モノではなく人であり、次世代に向けて残すべきものを厳選し、負債を次世代に負わすようなことをしない
- 人口の増加とは大げさかもしれないが、町行政にも一躍を担いたいと考えている

<産業>

- 雇用の確保(会社の誘致・学校の整備)
- 10 年後の人口は大きく減少するため、今以上に事業者の経営力を高め、地域内事業者を存続発展させて、地域としての活力を維持しながら消費者喚起を行うことができるよう、町内外に対するイメージアップを図る「北広島町ブランド」を構築する

<子育て・教育>

- 子育てしやすい環境の整備
- 地区外からの呼び込み(現在の空き家バンク等の整備)

<移住・住環境>

- 若い人でも暮らしたくなる町づくり
- 住みやすく、訪れたくなる町
- 自動運転の積極的誘致、ドローンを活用やドローン教習所誘致、Eスポーツ、多種多様なセミナー実施、コワーキング・シェアオフィスの誘致、スマートシティへの参画等、積極的に新しいものを取り入れて、中山間地域の成長モデルになる
- 「新たな暮らしや多様性に対応した町づくり」が北広島町の将来に必要な

<情報・ネットワーク>

- インターネットの有効活用
- 町の出身者が U ターンしたくなるような街づくり、魅力発信
- 北広島町が広島市内のようなまねごとをしても難しいと思うので、北広島町の田舎らしいところは変えずにやっつけていけばいいのでは(田舎のいいところを 10 代、20 代に理解してもらうのは難しいと思うので、30 代になって落ち着いた時に北広島町に戻ってきたら働ける環境があればいいと思う)

<協働・行財政運営>

- 役場での手続きの簡素化
- 一方的なサービスの提供とそれを受けるといった形ではなく、住民が自立して生活を循環できるような仕組みができればいいと思う
- 「人づくり」は町も掲げているが、大きな資金を使って外部の会社や専門家を呼ばなくても、町内や近隣の団体でも専門知識を持っている人がいるので、その人材を活用し、「話し合いの場づくり」が体制をつくることで、住民と行政が一体となった町づくりが可能だと考える